

実践 ボランティアグループ「かみふうせん」

1 はじめに

ボランティアグループ「かみふうせん」は、平成9年の志布志町立図書館（現、志布志市立図書館）の落成を記念して、読書活動を行う有志者が集まり結成された。その目的は、次のとおりである。

- ・ 会員一人ひとりの個性を生かした読書活動で、生きがいと健康づくりを推進する。
- ・ 読書活動を通じて、心身ともに健全で本好きな子どもたちを育成する。
- ・ 読書活動を中心に、よりよい生涯学習のまちづくりに貢献する。

2 主な活動内容

- ・ 市立図書館本館，分館での読み聞かせ活動（毎週土曜日：活動の実践(1)参照）
 - ・ 乳児3・4か月検診時に行われる「ブックスタート」での読み聞かせ活動（毎月1回：活動の実践(2)参照）
 - ・ 保育園，幼稚園，小学校へ出かけての読み聞かせ活動(要請により：活動の実践(3)参照)
 - ・ 高齢者福祉施設での読み聞かせ活動（冬季を除く年間8回）
 - ・ 「かみふうせんまつり」の実施（毎年1回，夏休み：活動の実践(4)参照）
 - ・ クールアースデー「キャンドルコンサート」(毎年1回，七夕の日)に参加（志布志市が主催する地球温暖化防止の普及，啓発を図る目的で行うイベント）
 - ・ 「緑陰読書」「図書館まつり」「クリスマス読書会」などへの参加（要請により）
- その他，声がかかれば志布志市を中心に，県内どこにでも出かけており，年間100回を超える活動を行っている。

3 活動の実践

(1) 市立図書館 おはなし会

志布志市立図書館のスタッフと連携し，一人でも多くの子どもたちに，本に触れ親しむ機会をもってもらうため，幼児，学童及び保護者を対象に，本館では毎週土曜日，分館では月1回第4土曜日に，手遊び，紙芝居，絵本等の読み聞かせを行っている。



【おはなし会】

(2) ブックスタート

ブックスタートは，平成12年の「子ども読書年」をきっかけに平成13年から全国の市区町村の地域で始まり，志布志市では翌平成14年から始まった。

現在では、全国 934 箇所の地域にまで広がっている。

この活動は、家庭内で絵本を読むことによって、赤ちゃんと保護者が心触れ合う、あたたかい時間をもつきっかけをつくるお手伝いである。志布志市立図書館と市保健課が主催し、志布志健康ふれあいプラザにおいて毎月 1 回、3～4 か月検診時の乳幼児と保護者を対象に「赤ちゃんの絵本」の読み聞かせを行っている。



【ブックスタート】

(3) 志布志市立小学校 おはなし会

志布志市教育委員会が推進している「全ての小学校におはなしグループを」というテーマのもとに、要請があったとき読み聞かせの実践や指導を行っている。

今年度は、現在までに小学校 6 校で活動した。



【志布志市立小学校で行ったおはなし会】

(4) かみふうせんまつり

平成 19 年から毎年夏休みに入った最初の土曜日に当グループ主催で行っており、今年 9 回目を迎えた。

ここで披露する人形劇は「かみふうせんまつり」の定番となっており、毎年多くの子どもたちに夏休みの思い出づくりとして、大変喜んでもらっている。



【かみふうせんまつり】

4 おわりに

ボランティアグループ「かみふうせん」は、平成 25 年に子どもの読書活動推進優良団体として鹿児島県教育委員会の表彰を受けた。また、平成 27 年に子どもの読書活動の実践においても文部科学大臣の表彰を受けた。これは長年わたり支えてくれた市立図書館スタッフや地域の皆さま、さらにおはなし会に参加してくれた子どもや保護者の方々のおかげと心から感謝している。これからも、一人でも多くの子どもたちが本好きになるよう、本に触れ親しむ機会を広く提供するとともに、家庭内においても身近に本があり、楽しく読み聞かせが行われるよう支援していきたい。平成 26 年図書館に隣接して「志ふれあい交流館」が開館した。それに伴い、図書館ボランティア養成講座が開かれ、その受講生と、今まで市内で活動していた読み聞かせグループ 3 団体のメンバーを中心に図書館ボランティア「がんがらの会」が結成された。これを機に、他のボランティアグループとの情報の共有と連携を深め、子どもから高齢者、障がい者が引きこもりにならずに家庭や地域、福祉施設でも楽しい時間が過ごせるよう、更に活動の場を広げていきたいと思う。